

旬な情報

No. 1014

平成29年5月23日

日刊水産経済 5/18

惣菜市場 9兆8399億円

28年は比前年102.7%

CVS

「食料品スーパー」伸びる

一般社団法人日本惣菜協会が発行を予定している「2017年版惣菜白書」によると、平成28年の惣菜の市場規模は9兆8399億円(前年比102.7%)と引き続き拡大を続け、10兆円産業となる瞬間が目前に迫ったことが分かった。「CVS(コンビニエンスストア)」「食料品スーパー」の伸びが著しい。

業態別の内訳をみると、「CVS」が3兆1100億9200万円(前年比105.0%)、「食料品スーパー」が2兆5417億5000万円(103.6%)、「専門店、他」が2兆9024億4000万円(100.9%)と、上位3業態がいずれも前年を上回った。

27年に「CVS」が「専門店、他」を上回ったことが注目を集めている。CVS業態が惣菜市場の急な成長を支えている。

構成比は31.6%と全体の3分の1に近づいた。総合スーパーは9148億3000万円(99.8%)、百貨店は3674億6000万円(99.0%)と微減だった。28年の外食市場規模が未発表のため、27年と18年の比較だが、食市場全体は27年に67兆2694億円(18年比)106.9%と伸びている。その内訳は惣菜市場が9兆8399億円(122.6%)、内食・外食(惣菜を除く)が7兆9024億円(100.9%)と伸びた。実金額の伸びが最大だったのは内食で3兆5006億4000万円(106.4%)だった。

2017年版惣菜白書(B5判、172頁)は23日に発行を予定している。18年目の今回から多くの人の手に活用してもらったため、値下げを実施。送料・税込みで協会関係者は8000円(前年比2000円減)、一般企業・個人は5000円(5000円減)に設定し、販売の「JMA」@nsouzai-kyoukai.or.jp

惣菜市場規模 (単位=百万円)

業態	26年		27年		前年比	28年	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
専門店、他	2,878,779	31.1%	2,876,252	30.0%	99.9%	2,902,449	29.5%
百貨店	369,921	4.0%	371,201	3.9%	100.3%	367,498	3.7%
総合スーパー	920,299	9.9%	916,981	9.6%	99.6%	914,883	9.3%
食料品スーパー	2,298,718	24.8%	2,452,565	25.6%	106.7%	2,541,715	25.8%
CVS	2,792,761	30.2%	2,964,388	30.9%	106.1%	3,113,392	31.6%
合計	9,260,479	100.0%	9,581,388	100.0%	103.5%	9,839,937	102.7%

一般社団法人日本惣菜協会「2017年版惣菜白書」ダイジェストから

日刊水産経済 5/18

うおいち、減収増益

商品事業本部がけん引

【大阪】OUGホールディングスは12日、同社子会社であるうおいち(三輪光幸社長)の平成29年3月期決算を発表した。それによると、売上高2000億6000万円(2000億6000万円)増、当期純利益12億9000万円(36.9%増)となった。特に北海道産の取扱数量14万514ト(6.2%減)となった。鮮魚部は天候不順などに影響を受けた。また、取扱数量は24万7604ト(2.3%減)だった。部門別では、市場営業本部が売上高1180億2800万円(4.4%増)、売上総利益58億8000万円(2.2%減)となった。



三輪 社長

ホタテなどは漁獲量減少と浜値高の中で輸入は増加した一方、国内販売が減少し大きく影響した。加工食品部も北海道産の漁獲量減少が影響した。一方、商品事業本部は売上高819億8700万円(1.0%増)、売上総利益36億5000万円(6.6%増)、取扱数量10万2090ト(3.8%増)となった。商品部は相場の下落によりスリ

身の販売が苦戦し、魚卵貿易業務も仕入れ商品の原物不足で不振が続いたものの、エビ、イカ、カニが順調に推移し業績に貢献した。特販部はすべて順調に推移し、特にマグロ加工品が伸びた。なお、役員の変動は次の通り。(30日)

代表取締役の異動
代表取締役社長 三輪光幸(代表取締役社長・社)

取締役の異動
取締役専務執行役員 市場営業本部部長 杉本 隆
取締役専務執行役員 市場営業本部部長 杉原 芳朗(常務執行役員市場営業本部大阪営業統括)▽取締役 勝田 昇
取締役専務執行役員 市場営業本部部長 杉原 芳朗(常務執行役員市場営業本部大阪営業統括)▽取締役 勝田 昇
取締役専務執行役員 市場営業本部部長 杉原 芳朗(常務執行役員市場営業本部大阪営業統括)▽取締役 勝田 昇

取締役の異動
取締役専務執行役員 市場営業本部部長 杉本 隆
取締役専務執行役員 市場営業本部部長 杉原 芳朗(常務執行役員市場営業本部大阪営業統括)▽取締役 勝田 昇
取締役専務執行役員 市場営業本部部長 杉原 芳朗(常務執行役員市場営業本部大阪営業統括)▽取締役 勝田 昇

大水、減収減益に



真部 社長

【大阪】大水(真部誠社長)は12日、平成29年3月期決算を発表した。売上高は3302億9000万円(前年同)期比4.5%減、営業利益3億6600万円(22.2%減)、経常利益5億5000万円(3.8%減)となった。また、特別損益に投資有価証券売却益2000万円、減損損失2100万円、税金費用1億1000万円を計上したことが要因となり、当期純利益は4億4000万円(27.8%減)で減収減益となった。

部門別では、水産物販売業務は消費者の低価格志向による消費の冷え込み、天候不順などによる不安定な漁獲状況が大きく影響。特に鮮魚ではイカ、サバ、サンマなど天然魚、塩干品ではチリメン、魚卵などの扱量が減少した。この結果、売上高は130.1億1200万円(4.5%減)となった。利益面では、売上総利益が68億5100万円(0.9%減)と減り、営業利益は5億2200万円(12.6%減)となった。

冷蔵倉庫等事業は、在庫量の減少などにより売上高が2億4200万円(6.2%減)となり、営業利益は2000万円(68.3%減)となった。

役員・執行役員人事(6月23日)
代表取締役社長 真部誠(代表取締役社長・社)
取締役専務執行役員 市場営業本部部長 杉本 隆
取締役専務執行役員 市場営業本部部長 杉原 芳朗(常務執行役員市場営業本部大阪営業統括)▽取締役 勝田 昇
取締役専務執行役員 市場営業本部部長 杉原 芳朗(常務執行役員市場営業本部大阪営業統括)▽取締役 勝田 昇

取締役の異動
取締役専務執行役員 市場営業本部部長 杉本 隆
取締役専務執行役員 市場営業本部部長 杉原 芳朗(常務執行役員市場営業本部大阪営業統括)▽取締役 勝田 昇
取締役専務執行役員 市場営業本部部長 杉原 芳朗(常務執行役員市場営業本部大阪営業統括)▽取締役 勝田 昇

16日に会見を行った真部社長は、今後の取り組みについて「荷受会社として業務の基本は、仲卸との取引・連携の強化と拡大。という単に市場内のシェアを伸ばすのではなく、仲卸と互いに有益な関係を構築すること、着実な売り上げ増を果たしていきたい」と抱負を語った。

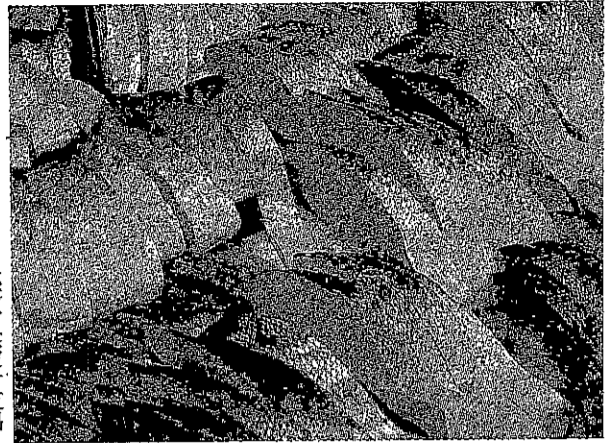
真部誠(代表取締役社長)▽執行役員 市場営業本部部長 杉本 隆
執行役員 市場営業本部部長 杉原 芳朗(常務執行役員市場営業本部大阪営業統括)▽取締役 勝田 昇
執行役員 市場営業本部部長 杉原 芳朗(常務執行役員市場営業本部大阪営業統括)▽取締役 勝田 昇

家計支出調査(3月)

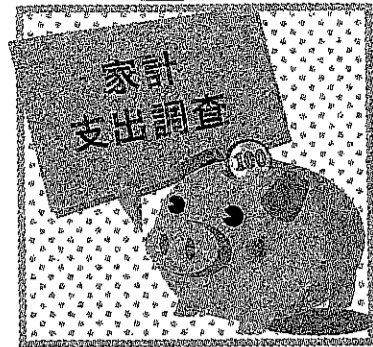
(総務省統計局家計調査から)

魚介類不振で6.3%減

サケ、イカ、アジ大幅減



前年割れが続いているサケ



家計支出調査

総務省は家計支出(家計調査報告)2人以上の世帯、農林漁家世帯を除く平成29年3月分を公表した。消費支出金額は前年比1.1%減だった。食料は1.7%減と、全体に比べて減少幅はやや大きかった。重荷となったのは魚介類で、8か月連続の6.4%減(前年比6.3%減)を3月として24年(6.4%)以来の6500円割れとなった。

家計支出(3月分)

Table showing household expenditure by category (Total, Food, Fish, Meat, etc.) from 2015 to 2024, with a detailed breakdown for the first three months of 2025.

魚介類の支出金額は9779円(8.8%減)だった。2ヶ月前減となった2月(10.8%減)と比べれば、幅は小さいものの、2月が前年同月に比べ、1日減の影響が織り込まれており、前年同月と比べると、販売不振はより深刻なものと見られる(10.8%減)。

Table showing monthly percentage changes for various food categories (Fresh fish, Dried fish, Meat, etc.) from March 2018 to March 2025.

干アジ低減引く 塩干魚介類の支出金額は1800円(3.1%減)となった。前年割れは10か月連続。低減が長引いている干アジが16.3%減。原料事情の好転も大きく大きく減った。

29年3月全国平均世帯の主要魚介類支出・購入量(2人以上の世帯)

Detailed table of fish and seafood expenditure and purchase volume by item (e.g., Salmon, Squid, Mackerel) for 2024 and 2025.

アマゾンフレッシュ

鮮魚や野菜、精肉などの生鮮品を、注文から最短4時間で届けるアマゾンジャパンの生鮮食品配送サービス「アマゾンフレッシュ」が4月から始まった。生鮮品は、品質が高く評価されているパートナークラウド7000点以上が出品されている。水産関係は、現在約300点以上の商品を出品しており、今後、商品数は増やしていく方針だ。